

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声

- ・大雨の時、危険を感じたため、かけ崩れや落石への対策をしてほしい。(地元住民)
- ・安心して避難できる場所がほしい。(地元住民)



事業位置
上野村

事業位置

事業の概要

- 事業箇所: 上野村新羽
- 事業内容: 防護柵工 L=166.5m
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (新羽公民館)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は防護柵工事を実施し、対策を推進します。

- 急傾斜地
- 重要施設等
- 人家

